

女の子は赤いランドセル、男の子は黒いランドセル、出席番号や整列順は男の子から…。「女の子(男の子)なら当然〇〇」といった固定観念の世界で学生時代を過ごしてきた編集スタッフにとって、今回の中学生・高校生との座談会は、学校や家庭の普段の生活の中で「男女共同参画」の学習が進んでいることもあり、性別による偏見や無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)にあまりとらわれることなく過ごしていることが印象的でした。

しかし、「女子だから裁縫が上手いな」「女の子がそんな格好したらダメ!」と言われたり、握力の弱い男の子がめっちゃからかわれていた、など今の若者たちの間でも疑問に感じたり考えて欲しいことはまだまだあるようです。

今後は「女だから」「男だから」ではなく、男女の違いを肯定的に学び、個人個人が役割や仕事を自らの意思で選択できる自由が根付くような教育がなされ、浸透していくことを願います。そして、今回の座談会が、自らの言動を振り返り、性別による偏りがないかを今一度見直し、友達や家族を思いやるきっかけになってくれればと思います。

また、一緒に参加していただいた保護者の方々が、子どもが個々の能力や適性、性格などに応じて、進路を選択する能力や態度を身に付けることができるよう、暖かく見守っている姿や思いがとても微笑ましく嬉しく感じました。

性別によって役割を決めてしまうことなく、自分の個性と能力を十分に発揮すると共に、男女が互いに対等なパートナーとして尊重し合いながら、一人ひとりの多様な生き方を認め合うことができる社会を築いて欲しいなと感じた座談会でした。



令和7年度 男女共同参画 事業報告

三重県内男女共同参画連携映画祭 2025

令和7年6月21日(土)
農業屋コミュニティ文化センター
上映映画:「お終活✳再春!人生ラプソディ」
出演者:高畑淳子さん、橋爪功さん、剛力彩芽さん ほか

男女共同参画松阪フォーラム

令和8年2月7日(土) 農業屋コミュニティ文化センター
講演会:「素自SOGI・親の願い
～トランスジェンダーの子を授かった親の話～」
講師:浦狩知子さん

男女共同参画さ・し・す・せセミナー

- 令和7年11月6日(木) 飯高地域振興局2階大会議室 講師:フレンテみえ 職員
テーマ:「災害からすべての人のいのちを守るために -男女共同参画の視点で防災・減災を考える-」
- 令和7年11月12日(水) 松阪市産業振興センター2階 人材育成講座室 講師:藤木美奈子さん
テーマ:「傷つけあう私たち ~『育ちの傷』を乗り越えて~」(DV 防止)
- 令和7年12月10日(水) 嬉野生涯学習センター2階 研修室 講師:フレンテみえ 職員
テーマ:「みんなが気持ちよく過ごせる地域をつくるために ~男女共同参画から学ぶハラスメント防止~」

制作スタッフのひとこと

時代は変われど未だに学生の間でも男女の差別は行われています。しかもメディア社会の今では差別の形態が少しずつ変わってきている様に思えた、これからの時代、差別がなくなりいようにならねえと行くと望みます。(池田)

男女の性差を考えると全てが平等にはなり得ないですが、性差や資質を踏まえた上でお互いが認め合い、協力し、共に補い合える社会であってほしいですね。(北村)

母校の中学校に電話し最近の学校について教頭からお聞きした。お忙しいのに先生の対応は丁寧で、言葉には卒業生への敬意を感じた。在籍中の母校は荒れていて、理不尽なことも多かった。思い出したくない時期もあったが、母校はいいものだった。(小山)

今回の座談会に参加して、昭和人間の私とのギャップも感じましたが、「お父さんみたいな人になりたい。」「好きな仕事を見つけ、好きな人を見つけ、結婚をしたい。」等の意見を聞き日本の将来も満更ではないと思いました。(田中)

いろいろと申しませんが、年齢も環境も違う人と、1つの課題に向けて対話をくり返し解いていくのは、かけがえのない学びです。こんなに言葉が有るんだあ〜!もらさず生きたことばを編んでいきたいと思っています。(萩原)

昭和生まれの年代は学校の先生がすごく怖いイメージでした。その当時は悪いことをすれば親より先に先生から怒られると同時に体罰も当たり前でした。さて今回の座談会において感じたのは平成、令和と時代ともに学校生活での男女の差別化がかなり薄れたように思いました。(松浦)

●発行 松阪市人権・多様性社会課
〒515-8515松阪市殿町1340番地1
☎0598-53-4339 FAX0598-26-4035
E-mail:jinkyo.div@city.matsusaka.mie.jp
https://www.city.matsusaka.mie.jp

●企画・編集 松阪市男女共同参画情報紙制作スタッフ
池田吉次、北村真寿美、小山隆司、高橋範子、田中隆幸、
萩原則子、松浦光義

制作スタッフ募集中



ひまわり

第28号
2026年2月発行



「男女共修は当たり前」 ～こんなに違う!昭和と令和の中学校～



昭和に制作された学園ドラマを見てみると、今の学校と様子が違うことに気付くかもしれません。昭和の中学校は、男女別々に学ぶ場面が多かったのです。

技術家庭の 授業

男女共修が基本。
女子も木工などをやり、男子も調理
などをする。

男女別々。
男子は技術で木工など、女子は家庭
科で調理や裁縫などをする。

体育の授業

男女共修で、男女が入り交じって同じ
競技をするのが基本。

男女別々。男子と女子が違う場所で
違う競技をすることが多かった。

出席番号や 整列順

男女を1つにした名簿で、整列も出席
番号順で男女が入り交じる。

名簿は男女別々で、男子が先で女子
が後。整列も男女別。

制服

男子の学生服、女子のセーラー服に
加え、男女がどちらでも着用できる「第
3の制服」がある。第3の制服は上
着がブレザーで、ズボンやスカートと
組み合わせできる。リボンやネクタイ
も選ぶことができる。

男子は学生服、女子はセーラー服と
決まっていた。



今の中学生から見れば「昭和って変だね」と思うのかもしれませんが。昭和世代から見るとずいぶん違うのだな、と感じます。話を伺った中学校教頭の「大人になれば制服や授業はなくなります。義務教育で男女を別々にすることはおかしい話です。」と話されたことが印象的でした。はたして、今の若者が性差を感じる場面はなくなったのか。次のページで制作スタッフが市内の中高生や保護者から話を伺いました。

男だから、女だからとか、女らしさ、男らしさではなく、
自分らしさを大切にして、個性や能力を
発揮していこうという社会のことを
「男女共同参画社会」といいます。

みなさんは、日頃、「男女共同参画」と聞いて
どのように感じていますか。

令和7年8月12日(火)座談会を行い、
いろいろな思いを聞かせていただきました。

Q 学校生活では

家庭科の裁縫の時に、男子から「女子やから上手いな」って言われたことがある。(男の子でも上手い子っていると思うけどな...) 中高生女子

学校の先生から「女の子はあぐらをかいたらアカン」と何度も言われる。(女の子だけがダメなのかな...) 中高生女子

昔は、ランドセルの色って赤と黒の2色しかなかったですね。
今は、本当に色とりどりで個性が表れていますよね。 スタッフ女性

クラスの男子で握力がとても弱い子がいて、めちゃくちゃからかわれて
いるのを見たことがある。(女の子でも握力の強い子はいますよね。) 中高生男子

生徒会とか学級委員(級長)とか、やっぱり「長」は男っていうイメージがあります。 保護者女性

今は、男女関係なく立候補して決めるほうが多いかな。女子が立候補すること多いし。 中高生女子

制服をズボンにするとしたら、ちょっと男向きやから、
女の子はやめたほうがいいんじゃないって言われた。
(女の子だからってみんながスカートを履きたいわけじゃないんだけどな...) 中高生女子

自分たちの時代は、女子の制服にズボンっていう選択肢はなかったよね。 保護者男性

僕らの時代は、先生から、女の子は〇〇ちゃん、
男の子は〇〇君というふうに呼ばれていたんですよ。 スタッフ男性

今の先生たちは、授業中は男女の区別なくみんな〇〇さんと呼ぶことが多くて、部活や廊下で会ったときは呼び捨てが多い。
先生によって違ったりする。 中高生男子



Q 家庭生活では

私は普通の服装だと思っているのに、家族から
「女の子なのにそんな格好してはいけない」と言われる。
(男らしい、女らしい服装って、誰が決めるのかな...) 中高生女子

娘に、「女の子なのに股を広げて座って」と言ってしまう時がありますね。
(男の子には言わないかもしれないな...) 保護者女性

週末に、私も夫も共に家にいるけど、どうして私だけご飯の支度をしなくちゃいけない
かなと思う時があります。(どちらか一方だけの役割ではないんじゃないのかな...) 保護者女性

料理はできませんけど、洗濯やゴミ出し、洗い物はしますね。 保護者男性

得意不得意っていうのはありますし、家庭で特に役割分担していません。
同居するおばあちゃんから、「台所に立ってくれるな」と言われるので、
料理をする機会はないですね。 保護者男性



Q 社会生活では

総理大臣とか、男ばかり。
(令和7年10月21日 初の女性総理誕生) 中高生男子

女性は家庭があるという理由で、同じ仕事をしてもらいたくても
お願いしにくいと感じる時がありますね。 保護者男性

自分の中で、男の人は頑張っているのが普通で、女の人が頑張っていたら
すごいなって思うところがあります。 保護者女性

コンビニなどのトイレでは、女子専用だったり男女兼用というのはあるけど、
男子専用っていうのは見たことがないかな。 中高生女子



Q イメージする将来像は

お父さんをすごく尊敬していて、将来、お父さんみたいな人になりたいと思う。 中高生女子

将来は、好きな仕事を見つけて、好きな人を見つけて、働きたいと思う。 中高生女子

親の立場としては必ず結婚して欲しいとは思ってなくて、
好きなように生きていってもらえたらいいと思っています。 保護者女性

他にもたくさんのお考えやご意見をいただきました。ありがとうございました。

参加していただいた中学生や高校生、保護者の皆さん

大矢 陽仁さん、大矢 咲希さん、大矢 沙由里さん、坂本 樹生さん、坂本 憲昭さん、中村 心春さん、
中村 花さん、中村 好美さん、曾我 達さん、高橋 蓮さん、納 華奈香さん、納 将憲さん